

作手の自然を記録しよう

長ノ山湿原トンボ観察会

環境の変化により、年々変わりつつある作手の自然を少しでも記録に残すため、作手地区で見られる季節折々の植物や小生物を観察し、写真に残す活動を始めました。作手地区にある湿原や湿地を中心に、作手ならではの植物や生物を観察・記録していきます。

今回は、秋のトンボを観察します。ぜひ、ご参加ください。

日 時 令和2年 9月27日(日)

午前 10時~12時



雨天延期(予備日 10/4)

観察場所

長ノ山湿原及び周辺

集合場所

長ノ山湿原駐車場

参加費

無料

持ち物

長靴・飲料



ネキトンボ



アキアカネ



リスアカネ

※マスクの着用をお願いします。

(新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。)

講師：内藤 信司 氏

日本トンボ学会会員。三河生物同好会会員。

1974年、宮崎県高鍋町内で湿原を発見し、高鍋湿原と命名し発表。宮崎県川南町で九州本土初となるミナミトンボの産地を発見し、学会誌に発表。

2000年、作手村(現新城市作手)で自然観察グループ「NFT(ネイチャー・フォーラム・in・ツクデ)、翌年「清岳向山湿原を守る会」を立ち上げ、湿原の保護活動を始める。以降、湿原保護活動を継続。

2008年、作手村村誌編纂に携わり、作手のトンボ調査結果を掲載。

豊橋市在住。豊橋市の自然環境調査、トンボ調査等活躍中。

主催／作手の自然記録会